

ずっとウソだったんだぜ

結 城 洋 一 郎

二〇一一年三月一日という日は、最初から成立するはずもない「原発安全神話」が音を立てて崩れ去った日でもある。

この日から私たちは、「直ちに影響はない」という類の欺瞞に満ちた解説や報道の嵐に見舞われることになるのだが、しかし一方では、有名・無名の多くの国民が、これに抗する声を上げていたのである。

そうした声は大手マスコミによって意図的に黙殺されてきたが、今や私たちはインターネットを通じて彼らの声を聞くことができる。そしてこれに接する時、現代のレジスタン（権力に抵抗する人）たちの精神には、かつての落首や狂歌の作者たちにも劣らぬユーモアの感性と知性が息づいていることに気が付かされるのである。

こうした人々に敬意を表し、ここにその幾つかを記録しておきたい。

(1) 「原発賛成音頭」(忌野清志郎が「ザ・タイマーズ」というグループ名で歌ったもの)

さあ皆さん聞いてくれ 原発賛成音頭だよ
これなら問題ないだろう
みんな大好き原子力
それ 原発賛成 (合いの手…原発賛成)
嬉しい原発 楽しいなあ

日本の原発世界一
何にも危険はありませぬ
みんな仲間さ原子力
それ 原発賛成 (原発賛成)

原発賛成 (原発賛成) (以下略)

(2) 「ずっとウソだった」(斉藤和義が自作の「ずっと好きだった」という歌のパロディーとして作ったもの)

この国を歩けば、原発が五四基
教科書もCMも言ってたよ、「安全です。」
俺たちを騙して、言い訳は「想定外」
懐かしいあの空、くすぐったい黒い雨
ずっとウソだったんだぜ
やっぱ、ばれてしまったな
ホント、ウソだったんだぜ
原子力は安全です
ずっとウソだったんだぜ (以下略)

(3) 「原発音頭」(自営業者の田口輝二氏の作品。その二番と三番)

一基作れば一兆円
金にや誰でも勝てやせん
天下りにもことかかす
明日のことより今日の飯

※ どんどん原発作りましょ
どどんと原発作りましょ
安全クリーンなエネルギー
邪魔な学者は助手どまり
テレビラジオにや出させません
御用学者はかねまみれ
世論操作はお手のもの
※ 繰り返し

(4) 「こだま」(作者不詳、金子みすず作品のパロディー)

「大丈夫？」ていうと
「大丈夫」ていう。
「漏れてない？」ていうと
「漏れてない」ていう。
「安全？」ていうと
「安全」ていう。
そうして後で怖くなって
「でも本当はちよつと漏れてる？」ていうと
「ちよつと漏れてる」ていう。
「こだまでしょうか？」
いいえ、枝野です。

さて、それにしても、原発推進の中心人物・正力松太郎氏が、戦前の警察官僚にして読売新聞の社主であり、A級戦犯容疑者ながら無罪放免となり、CIAのエージェントになってその協力の下に日本最初のテレビ局「日本テレビ」を立ち上げ、自民党議員として初代原子力委員会委員長、科学技術庁長官を勤めてきたという現実を見るならば、わが国の原子力行政とマスコミ報道がずっとウソにまみれ続けてきたという事実ももうなげけることである。

ハゆうき よういちろう・小樽商科大学教授